

“最強”寒気 各地で雪による事故、相次ぐ 吹雪、アイスバーン

2015年2月10日(火)0時4分配信

この冬一番の強い寒気に覆われた日本列島で、雪による事故が相次いだ。
青森市の国道で、大型トラックが、前の大型トラックに衝突した衝撃で対向車線にはみ出し、乗用車と正面衝突した。追突された大型トラックの60代の男性がケガをした。
一方、北海道上川町東雲の国道39号でも、乗用車が対向車線にはみ出し、大型トレーラーと正面衝突した。
この事故で、乗用車を運転していた男性(20)が死亡。事故当時、現場はふぶいていて、路面はアイスバーン状態だったという。

◆スリップ事故防止のポイント◆

- 対向車とすれ違うときや、カーブの手前では、**早めにスピードダウン!**
- 直前での強いブレーキは、**スリップの危険!**
- 車間距離は**長め**にとって、運転に**余裕を!**
- 無理な**追越し**は、絶対に**しない!**

- ・市街地、交差点付近の凍結路面で追突、衝突
- ・慣れにより、路面のすべりやすさを忘れてスリップ
- ・交差点付近は、雪山で見通しも悪くなり、出合い頭の衝突や歩行者との事故が多く発生

- ★雪道がすべるのはあたり前、「すべること」を意識しましょう
- ★路面状況に応じて、十分な車間距離を確保しましょう
- ★天候・道路情報を収集し、危険な箇所・状況を判断しましょう

バック時は 降りて確認 乗っても確認

追突、玉突き事故を防ぐ
交差点手前で止まる時は車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認/よ~し!」

スリップしてはみ出し、トラックと衝突、死亡

2015年02月10日 07:24

9日午後9時15分ごろ、岐阜県の路上で乗用車が対向車線にはみ出し、走ってきたトラックと衝突する事故がありました。この事故で車を運転していた男性(37)が頭を強く打ち、死亡しました。トラックの運転手にけがはありませんでした。警察によりますと、現場はおよそ5センチの積雪があり、道路はシャーベット状で滑りやすくなっていたということで乗用車がスリップして対向車線にはみ出した可能性もあるとみられています。

地吹雪、圧雪・アイスバーン はみ出し、大型トレーラーと正面衝突、20歳男性死亡

2015年2月9日(月)11時58分

9日午前1時半すぎ、上川町の国道39号で、乗用車が大型トレーラーと正面衝突し、乗用車を運転していた20歳の男性が死亡しました。現場は片側1車線の緩い左カーブで、路面は圧雪アイスバーン状態でした。当時、地吹雪で視界も悪かったということです。警察は、乗用車側が反対車線にはみ出したとみて詳しく調べています。

大型トラックがガードレールに衝突、はみ出し 対向のトラックと正面衝突 3台絡む事故 1人死亡

[2015/2/6 17:14]

6日午前3時30分頃、岡山県の国道で、大型トラックがガードレールに衝突後、対向のトラックと正面衝突。更に後続のトラックも接触した。この事故でガードレールに衝突したトラックを運転していた男性(45)が死亡した。